

21 世紀における気象業務のあり方について 検討イメージ(案)

気象業務への期待

- ・台風・集中豪雨・地震・津波・火山噴火等による
自然災害の防止・軽減
- ・社会・経済活動の健全な発達と国民生活の向上への貢献
- ・地球環境保全への貢献

技術的背景

- ・気象、地震・火山等の自然現象の解明と予測技術の高度化
- ・情報通信等の技術基盤の発展

社会的背景

- ・自然災害に対する脆弱性の増大と国・地方公共団体等における危機管理体制強化
- ・社会・経済活動の多様化とグローバル化
- ・地球環境問題等の顕在化
- ・行政改革・規制緩和等

検討課題

21 世紀における気象業務の方向性

気象庁が行うべき業務と国・地方公共団体・民間気象事業者等と連携・協力した総合的な気象業務の実現方策

気象庁の国際的な役割

気象、地震火山、海洋、気候等に係わる個別業務の優先課題

気象業務の健全な発達